

宮前区

川崎市中央卸売市場北部市場

小田急バス「南水沢」バス停下車  
東急バス「平津三叉路」バス停下車  
川崎市バス「清水台」「北部市場前」バス停下車 など

食とくらしを支える川崎北の台所



川崎市中央卸売市場北部市場は、昭和57(1982)年に開設されました。消費地に立地し、東名高速道路の川崎インターから近いことなど立地条件に恵

まれ、生鮮食品等を安定的に供給する食の流通拠点として私たちの生活を支えています。東京ドーム約3.5倍の広い敷地には、品物取引の場となる青果棟・水産棟・花卉(かき=くさばな)棟、食品の品質を保つための大きな冷蔵庫などがあります。敷地のほぼ中央には市場を利用する人たちのためにサービスを提供したり商品を販売する関連商品売場棟(関連棟)があり、まるで一つの街のようです。

市場では、卸売業者が全国の出荷元から生鮮食料品を集め、出荷者に代わって仲卸業者、売買参加者にせり売りや相対(あいたい)取引等で販売します。市場内に仲卸業者が構えた店舗では、小売店、飲食店などの買出人といわれる人が大量に購入していきます。

市場というと、独特の雰囲気のある場面を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。近年は双方の合意で価格・数量などを決める相対取引が主流となり、水産



新鮮で立派な魚介類が並び(水産棟の仲卸業者店舗)



新鮮な野菜や果物が全国から集まる(青果棟の仲卸業者店舗)



手前のベルトコンベアーの上をせりにかけられた切り花や鉢物が流れる

部門では、所属する業者で構成される委員会が決めた品目だけをせりにかけているそうです。せりでは、せり人の呼びかけに応じて買い手が手やり(指で数字を表す)で値段を示します。1~2分の間に、すごい勢いで何十品目も競り落とされていくそうです。

青果はあらかじめ納入先が決まっていることが多く、小売店で値付けしたらそのまま店頭に出せるように、仲卸業者の皆さんが袋詰めなどを済ませてから出荷することが主流となっているそうです。

花卉のせりでは、買い手30~40人の前に3人のせり人が立ち、同時並行でせりを行い、目線が合っているかどうかでどの品物を競り落としかが決まるという神業が繰り広げられるのだとか。

川崎市経済労働局中央卸売市場北部市場管理課

〒216-8522  
宮前区水沢 1-1-1  
電話 044-975-2211  
FAX 044-975-2242



川崎市ホームページ



交通案内



食彩まつり

あなたも私も、市場で楽しくお買い物

元々市場は生鮮食料品などを扱うプロ向けの施設として運用されてきましたが、北部市場では、市場が開いている日(原則、水曜日と日曜日はお休み)、プロの皆さんのお仕事有一段落する午前8時以降は一般消費者にも開放しています。



「関連・朝市」毎週土曜日  
午前7時半~10時半  
関連棟・センター通り

毎週土曜日には、初めて市場に来る人も安心して楽しめる「関連・朝市」を開催。これは、肉・酒・乾物・菓子・容器などの関連商品を扱う店舗を中心に開催している一般消費者向けの売り出しイベントで、午前7時半から来場可能です。

今年8月3日には、水産部門も協力して「夏休みは北部市場で自由研究!」というイベントを実施。リアルおさかな図鑑、さかなの絵の展示、「鯛の鯛図鑑」の著者と魚屋さんによる解体ショーなど、盛りだくさんの内容で大いに賑わいました。この秋には、青果・水産・花卉・関連という市場を構成する全部門が参加し、大きな祭りを開催します。市場は初めてという方も、何度も訪れている方も、ぜひ足を運んでお楽しみください!

市制100周年記念 北部市場 食彩まつり

令和6年11月2日(土曜日)  
午前7時30分~正午頃※

- 《主な内容》 (雨天決行)  
マグロの解体ショー&販売  
野菜の詰め放題  
鮮魚と花の模擬せり販売・即売会  
ステージイベント、抽選会  
フード販売  
スポーツ関係のアトラクション など

当日は宮前平駅から無料シャトルバス運行



昨年の様子

※イベント内容・終了時間は都合により変更される場合があります。

新鮮&美味しい市場めし

市場の新鮮な食材を使った『市場めし』も楽しみのひとつ。関連棟3階には食堂街があり、水産棟・青果棟・管理棟の1階にも食事を提供する店舗が数店あります。

和食、洋食、お寿司に麺類、カフェもあります。朝から午後1時頃までの営業なので、早めのランチがおすすめです。皆さんも、市場デビューしてみませんか。



午前8時以降は一般の方もウェルカムです。美味しい市場めしをご賞味あれ!